

**もうり栄子** 県議が6月26日、6月県議会（6/20～7/5）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



## ＊ ＊ 四賀メガソーラー事業について ＊ ＊

**もうり** 四賀メガソーラー事業は、200haに31万枚を設置する巨大な計画。事業者は大量の排土を域外の採石場に搬出するといっている。盛土の防災や環境面の管理はどこが責任を持つのか。

**環境部長** アセスの検討事項から外れ、採石法や森林法の許認可となるので、防災や環境の観点から審査される。

**もうり** 林地開発許可はどこまで進んでいるか。県は伐採木の処理をどう指導するのか。

**林務部長** 事前協議を行っている段階。申請後、森林審査会で判断する。伐採木が産業廃棄物になる場合は適正な処理を指導する。

**もうり** 区長会代表らが知事に公聴会の要望書を出しているが、実施するのか。知事の認定を得る条例制定が必要では。

**知事** 公聴会は実施する。市町村毎に事情が異なるので、課題を共有しながら地域と調和するようとりくむ。景観届け出制度の見直しもしている。

## ＊ ＊ 福祉医療のさらなる充実について ＊ ＊

**もうり** 障がい者医療給付費も現物支給にすべきでは。

**健康福祉部長** 財源が限られた中で財政面から総合的に判断する。

**もうり** 子ども医療費窓口無料や障がい者医療給付に関して当事者の意見を聞くべき。

**健康福祉部長** 実施主体の市町村とともに関係団体等、当事者から意見を聞いて判断する必要があると認識している。

**もうり** 就学前までの医療費の無料化を国に求めてほしい。市長会が小中学生も県の通院補助対象となるよう年齢の拡大の要望書を出しているが、知事の考えは。

**知事** 国には全国一律とするよう要望している。補助対象拡大の要望には、問題意識を共有している。県の限られた財源を活用する上で、十分検討していく。

**もうり** 財源の問題というが、6月議会でも財政が厳しいと言いつつ25億円が新たに基金への繰入ができたことを考えれば、未来の投資として知事には大胆な決断を求める。

## ＊ 「長野県主要農作物及び伝統野菜等の種子に関する条例」について ＊

**もうり** 種子計画を、種子関係団体と協議して県が責任をもって策定すべきでは。生産の後継者や専用施設の老朽化に対する対応は。

**農政部長** 種子の生産と安定供給の中核を担う原種センターが適当と考える。後継者の育成や老朽化への対応は重要な課題で支援を検討する

**もうり** 安全で、安心の持てる生きた条例に。

### ＊質問を終えて＊

四賀メガソーラーは準備書が出され、公告縦覧がはじまったので、みんなが積極的に意見を出し、簡単には実施させないようがんばりましょう。